

佐保  
隊員

吉本  
隊員

山  
ご  
ろ

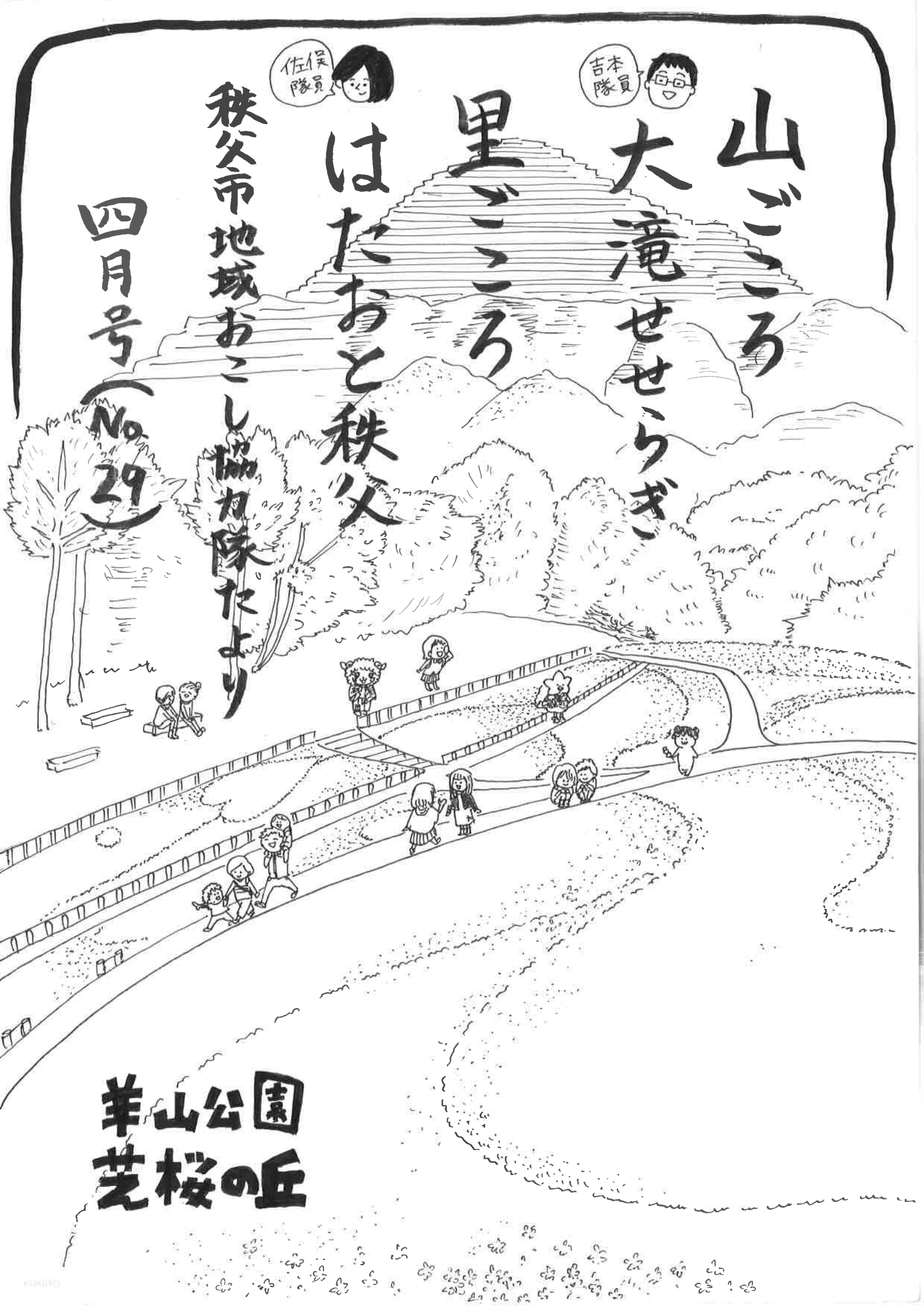
大  
滝  
せ  
せ  
ら  
ぎ

里  
ご  
ろ

は  
た  
お  
と  
秩  
父

秩父市地域おこし協力隊より

四月号  
(No. 29)



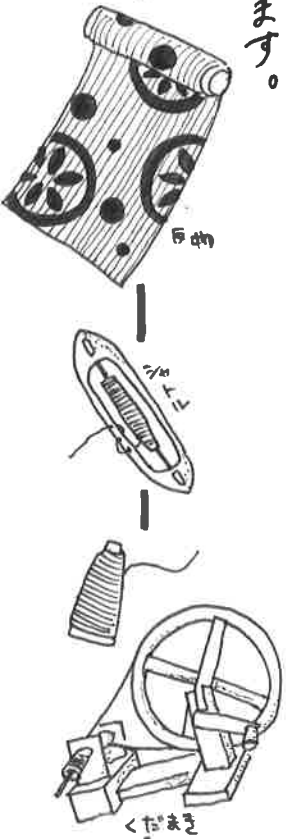
羊山公園  
芝桜の丘

# 里ごころ はたおと秩父

## 秩父銘仙協同組合ができました。

平成二十七年三月一日より秩父織物協同組合が、秩父銘仙協同組合に変更になりました。今後の回の伝統的工芸品に係る事業や、ちちぶ銘仙館の運営などは秩父銘仙協同組合で行われます。組合名に「秩父銘仙」が入ったことで、組合の方たちが秩父銘仙を盛り上げようという意気込みを感じます。

この一年秩父銘仙と伝統的工芸品に関わって、改めて織物の分野の振興は難しいと思いました。着物が着られていない状況に加えて、現在は沈える化繊の安価な着物も出ています。その中で秩父銘仙という絹織物の手工芸品を欲しいと思っただけなら、どうしたらいいのだろうと考えてきました。答はまだまだ出てませんが、各織元さんが被災にもつくりを続けて下さっていて、かつ地域の方々が秩父銘仙を大事に思っただけで、下さっている状況がより広く伝わるようにあと二年頑張ります。



かわはく春まつり(日) 寄居にある埼玉果立川の博物館で行われたかわはく春まつりにちちぶ銘仙館で出店しました。小物の販売と、型染め体験を行いました。型染め体験は普段銘仙館に來ない小学生より下の子どもたちも体験してくれ、またやりたいと言っただけだったので銘仙館の良いPRになりました。今後他のイベントでも協力できればと思います。

## ちちぶ銘仙館

手織り、型染め、藍染めほくし染の体験や、昔の秩父銘仙、織機工場試験場時代に使われていた織物の機械が展示されています。

企画展 「つるし飾りと銘仙展」にたくさんのご来場ありがとうございました!!

TEL: 0494-21-2112

埼玉県熊木町28-1  
西秩父駅より徒歩5分です!

## お問い合わせ

秩父市役所 商工課  
地域おこし協力隊  
佐俣 菜津子

TEL: 0494-25-5208

FAX: 0494-25-0136

MAIL: syoko@city.chichibu.lg.jp

商工課(地場産3F)か  
ちちぶ銘仙館におります!

絹のみちプロジェクト、自治体向け情報共有会 関東経済産業局にて、絹に関わる産地の情報共有会に出席しました。山梨県の取組発表は興味深く、工房と学生デザイナーをつなげる一年で製品化するプロジェクトや「ヤマナシハタオリトラバル」ブランドによる都内販売などデザインと販路のサポートがうまくできていると思いました。

# 種イモ植えイベント

3月21日、栃本地区にて種イモ植えイベントを開催しました。集まった参加者は12人。皆で畑を耕し、中津川いも植えしました。その後お昼には、私が用意したちらし寿司やけんちゃん汁、地域のおばあちゃんが作ってくれたそば饅頭やいもでんがくを皆で食べました。参加者の皆さんは普段畑仕事をやらない方々だったので、耕したりいもを植えたりする作業が楽しかったそうです。また用意した昼食も、とても美味しかったと言ってくれました。

大滝の畑は急傾斜で、機械が使えず作業も大変なため、休耕地が増えつつあります。しかし傾斜地でしか経験できないこともあり、そういう体験をしてみたい人もいます。今回、種いもを植えつけた畑も、昨年、再生するまでは、ススキの生り茂る休耕地でした。私は今後、体験してみたいという方々と一緒に、休耕地を耕していけたらと考えています。

## 中津川いも


ジャガイモの一種。小さ目で、皮は薄いが煮崩れしずらい。大滝では味噌をからめていもでんがくにして食べる。大滝の畑でしか美味しく育たないと言われている。

火の手伝い、山の手伝い等々ミお気軽にご連絡ください！

会場の様子はインターネットで生中継されました！



金の協力がはるPRタイムの様子

Facebook ページもぜひご覧ください！  
 ↓  
  
 秩父市 地域おこし協力隊  
 文責：吉本 隆久  
 連絡先：秩父市大滝総合支所 地域振興課  
 TEL：0494-55-0862  
 Mail：ccb.localact@gmail.com

# 地域おこし協力隊 全国サミット

3月8日、東京六本木ヒルズにて地域おこし協力隊全国サミットが開催されました。このサミットは来年度末までに全国の協力隊を3千人規模に増やすにあたって、活動を広く知ってもらう目的で行われました。私たち秩父市地域おこし協力隊も参加し、特産品の販売や活動紹介を行いました。当日、佐俣隊員は秩父銘仙を着付けていただきました。その美しい着こなしは周囲の目を惹き、多くの人から声をかけられていました。また私の活動に興味を持ってくださった方もいて、21日のイベントにも参加してくれました。



# 秩父歳時記 4月 白久の串人形芝居

公開日：四月第三日曜日

秩父はお祭りの多い町!! その一部をご紹介します

秩父神社

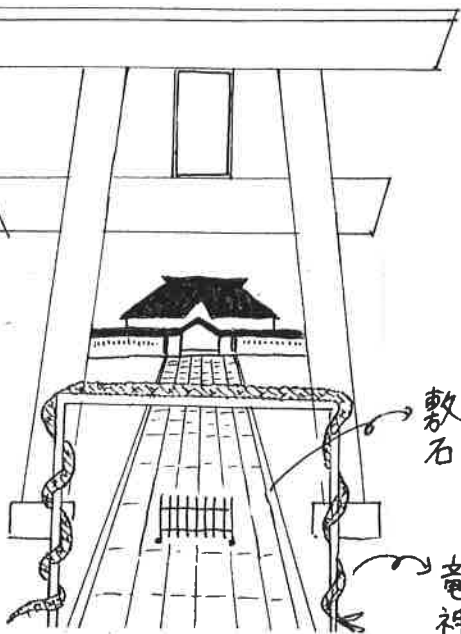
## 御田植祭

埼玉県選定  
無形民俗文化財

開催日：四月四日

古くは旧暦2月3日に行われていました。江戸時代の記録によると、お祭りの前10日程は近隣の農家は仕事を控えて生活を模しんだとあり、特に重要なお祭りとして大切にされたことが伺えます。

御田植祭は午後一時より始まります。本殿にて祭典が行われた後、御神幸行列は秩父市中町の今宮神社へと向かい、水乞いの神事が行われます。そして水幣を奉持して秩父神社へと戻り、鳥居下に置かれたワラで作った竜神に水幣を差し立て、神田に水を満たします。その後神社境内の敷石を水田に見立てて苗代作りから、種蒔き、田植え、収穫までの農耕儀礼を、田植歌を歌いながら、模擬的に行います。



白久の串人形芝居は幕末の頃、秩父郡内のあちこちで行われていた芝居を見て、それらと真似して、卵の殻や箸、手拭を使っ、て芝居をしたのが始まりと伝えられています。その後、住民が大金を払って22体の人形を買い求め、一座を組織し、現在に伝わる操法を編み出し上演したそうです。

人形は二本の竹串を使っ、て操るため、串人形と呼ばれています。

人形は全長六寸七センチの小人形で二人遣いです。義太夫の語り

りに合わせ、一体の人形を二人で操り、人形の手の動作に竹串を使うなど、

全国的にも珍しい芝居です。

そのため、国選無形民俗文化財に指定されています。

埼玉県無形民俗文化財に指定されています。

ありませう。

